



# 講座紹介

環境学習講座

# 1

対 象

高校生～  
(一般可)

対応可能人数

～40人程度  
(クラス単位可)

時 間

120～180分  
(分割可・短縮可)

## ●講座名

# 山口市の未来を考えよう

自らの住む山口の地を再認識し、山口の伝統文化、自然環境、社会システムも含めて、どのように持続可能な社会を築いていくかを考え、受講者が共通認識を持つことで、持続可能な社会の構築へ向けた意識を育みます。

## ●講座概要

日本は2030年までに温室効果ガスの排出を2013年度比で26%削減すると国際社会に提示しました。現在の山口市の現状を踏まえ、未来の山口市をどんな社会にしていっていいのかが、講義と演習で未来の山口市のあるべき姿を考えていく講義とワークショップ形式の講座です。4～6人程度のグループ討議を含めることで、広い角度から物事をとらえ、問題解決のための方法を見出す力を養います。

## ●講座内容

- ① 地球環境問題の概要
- ② 環境の側面から見た山口市の現状と課題
- ③ 持続可能な社会とは
- ④ 未来の山口市の理想像を描く (演習)
- ⑤ その理想像を実現するための方策を考える (演習)
- ⑥ グループごとの発表

## ●講師

山口県立大学 准教授

温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表

IPCCレポートコミュニケーター

いま むら ちから  
今 村 主 税

## ●その他

- ・ 既成の概念にとらわれずに自由な発想で山口のまちづくりを考えます。
- ・ 筆記用具をご準備ください。

環境学習講座

## 2

対 象

高校生～  
(一般可)

対応可能人数

～100人程度  
(クラス単位可)

時 間

60～180分  
(分割可・短縮可)

## ●講座名

地球温暖化と環境問題の構造  
－問題の本質は何か？－

地球環境問題、とりわけ地球温暖化とその他の周辺の問題との関連を知ることで、環境問題は何か、何をどのように解決すべきか、を立場に応じて、自分自身で考えます。

## ●講座概要

近年、地球温暖化が大きな社会問題として注目されています。地球温暖化の要因は何か？本当に地球温暖化がおきているのか？地球温暖化が起きているとしたらどんな影響があるのか？私たちの生活はどうなるのか？などの疑問に答えることで、地球温暖化と様々な環境問題の構造を知り、問題の本質はどこにあるのかを考えます。そして、これからの地球の変化に対応するためにはどうしたらよいか、を前向きに考えるための講座です。

## ●講師

山口県立大学 准教授

温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表  
IPCCレポートコミュニケーターいま むら ちから  
今 村 主 税

## ●その他

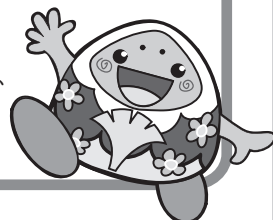
- ・筆記用具、プロジェクター、スクリーンが必要となります。(プロジェクター、スクリーンがない場合、こちらで準備可能)
- ・時間によってはワークショップを取り入れることも可能です。
- ・環境の問題は多様な分野にまたがり、複雑な構造になっています。職種や立場に関係なく多様な参加者が受講して下さると嬉しいです。



## Q. 寒い地域が暖くなるなら、何も問題ないんじゃないでしょうか？

この前、友だちと話していて、寒い地域が暖くなることは、そこに住む人にとっては歓迎すべきことではないかということになったんです。温暖化って、気温が上がるだけではないと思っているのだけど、いま一つピンとこないのですが？

- A. 確かに現実には、「地球温暖化を温度上昇とだけしか理解していない」人が多いと思うよ。だけど、地球温暖化が問題とするのは、平均気温が上昇することによる、その過程での気候の変化や日常的に異常気象が増えることなんだよ。
- たとえば、シベリアやアラスカなどでは、水分が凍って岩石のように硬くなっている永久凍土が溶け始めているんだよ。温暖化が進めば、これが溶けるスピードが速まり、閉じ込められている強力な温室効果ガスのメタンが大量に放出される可能性があり、ますます温暖化が進むことが考えられるんだ。また、山岳地帯にある氷河が大量に溶け出し下流にある地域が大洪水に見舞われたり、積雪の減少によって淡水の蓄えが減り、水不足の可能性も高くなるよ。さらに、気候が変化すれば農作物の収穫も減少する可能性もあるので、悪循環、悪影響のほうはるかに大きくなるんだ。



環境学習講座

# 3

---

対 象

高校生～  
(一般可)

---

対応可能人数

～100人程度  
(クラス単位可)

---

時 間

45～180分  
(分割可・短縮可)

●講座名

## 各種の地球環境問題の解決に向けて

地球環境問題の中でのつながりや関連を知り、解決方策を各自で考え、地球全体に関わることを「自分事」としてとらえていただくための講座です。

●講座概要

地球温暖化に限らず、地球環境問題は多くの要因が複雑に絡み合っています。私たちはなぜ地球環境問題に取り組まなければならないのか？現在は地球環境問題に対する対策の答えはない状況です。このような状況の中で、私たちはどんな解決策を見出していったらよいのでしょうか？

- ・オゾン層の破壊 ・酸性雨、大気汚染 ・海洋汚染
- ・生物多様性 ・地球温暖化 ・廃棄物問題

上記のテーマから、時間により1～3つ程度(1テーマあたり45～90分程度)選んでいただき、そのテーマについての解説や解決策について講義します。

●講師

山口県立大学 准教授  
温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表  
IPCCレポートコミュニケーター

いま むら ちから  
**今 村 主 税**

●その他

- ・プロジェクター、スクリーンが必要となります。(ない場合、こちらで準備可能)

環境学習講座

# 4

---

対 象

中学生以上  
(一般可)

---

対応可能人数

100人

---

時 間

60～180分

●講座名

## そのエコ、本当にエコですか？

●講座概要

多くの情報があふれる社会の中で、正確な情報を得ることが大変重要になっています。エコに関する情報も、一見正しいと思われる情報であってもよくよく調べてみると、実はそうでもなかったり、間違っていたりということもあります。

私たちは多くの情報の中から、できるだけ正確な情報を選び出し、正しく判断する能力が求められています。この講座ではエコに関する情報を正しく認識し、より環境に配慮した行動をとるための1つの考え方として、ライフサイクル思考を取り上げ、ライフサイクルアセスメントやカーボンフットプリントの考え方について理解を深めます。

1. ライフサイクル思考って何？
2. ライフサイクルアセスメントとカーボンフットプリント制度の解説
3. 身の回りのカーボンフットプリント表示製品
4. 私たちには何ができる？

●講師

山口県立大学 准教授  
温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表  
IPCCレポートコミュニケーター

いま むら ちから  
**今 村 主 税**

環境学習講座

5

対 象

小学5年生～

対応可能人数

50人程度  
(クラス単位可)

時 間

60～90分  
(分割可・短縮可)

## ●講座名

環境の歴史を学んで  
未来に生かそう

人類が環境を汚し、あるいは守ってきた歴史を学び、その知恵を未来の地球に生かす方法を参加者全員で考えます。

## ●講座概要

- 1 人々は、資源を上手に使うことで、地球上の生物の中でもっとも栄えてきました。
- 2 ところが、「第2次産業革命」（1865年から1900年まで）以後、「工業化」が急速に進むと、人々の生活は豊かになる一方、世界中で「公害」が発生しました。
- 3 日本では、特に第2次世界大戦後に各地で公害が発生し、ぜんそくや水俣病など人々に直接健康上の悪影響を引き起こすとともに、多くの貴重な自然が失われました。
- 4 このため、政府や企業は、公害を防ぎ、失われた環境を回復するため積極的に対策を進めた結果、いわゆる「公害」はほぼ改善されました。
- 5 ところが、今では「公害」とは比較にならないほど深刻な「温暖化」などの「地球環境」問題がのしかかってきました。
- 6 こうしたことから、「温暖化」を中心とする「地球環境」問題を我々「地球人」は深刻に受けとめ、その解決方法などを積極的に考え、行動する必要があります。

## ●講師

NPO法人 環境奇兵隊、エコアクション21審査人

せき や けん ぞう  
関 屋 建 三

## ●その他

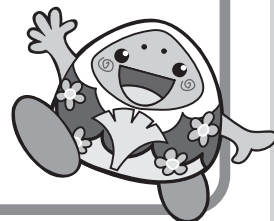
- ・対象者や年齢に応じて、できる限りわかりやすい内容に設定します。
- ・開講日時については、出張等の関係により、事前にご相談ください。
- ・パワーポイントを使用するため、プロジェクター、スクリーン、パソコン、レーザーポインターもしくは指示棒をご準備ください。(スクリーン以外はこちらで準備可能)



## Q. 汚れた環境は、その後どうなっているの？

人々は、あちらこちらで環境を汚しながら生活のレベルを高めてきたと聞いたことがあります。どのようなことをして環境を汚したのか、汚れた環境がその後どうなっているのか教えてください。

- A. 日本を例にとると、昭和30年代から50年代にかけて、人々の生活が豊かになるにつれ、熊本県では有機水銀による「水俣病」、三重県では煙突から出る硫酸化物による「四日市ぜんそく」など、全国のいたるところで「公害」が発生したんだよ。そこで、国や地方は、新しい法律や条例をつくって規制を強化する一方、企業も積極的に排水・排ガスをきれいにするに策に取り組んできたんだ。その結果、煙突から出る煙、排水口から出る排水については、世界でも最高水準の処理がされているよ。ただ、一度汚された川や海はすぐには回復しないんだ。また、狭い範囲だけを改善しようとしてもうまくいかないし。このため、最近では漁業の人が山林の管理に、林業の人が干潟の再生に参加して山から海までのすべてを対象に、時間をかけて回復させようとするも行われているよ。





環境学習講座

# 6

対 象

中学生～

対応可能人数

50人程度  
(クラス単位可)

時 間

60分  
(短縮可)

●講座名

## 地球温暖化に関する豆知識

●講座概要

地球温暖化問題は、今や私たちにとって身近で重要なテーマとなっています。地球温暖化を少しでも食い止めるために、各国がCO<sub>2</sub>削減に努力しています。この講座では、以下のようなことを学びます。

1. 地球温暖化ってなに？
2. どうしておこるの？
3. 温暖化は暴走するって本当？
4. 呼吸で大気中のCO<sub>2</sub>はどのくらい増えるの？
5. 森林減少でCO<sub>2</sub>はどのくらい増えるの？

●講師

山口大学名誉教授、日本学術会議連携会員  
 緑と花と彫刻の博物館「ときわミュージアム」勤務  
 はや かわ せい じ  
 早 川 誠 而

環境学習講座

# 7

対 象

小学生～  
(一般可)

対応可能人数

～50人  
(クラス単位可)

時 間

60～120分  
(短縮可)

●講座名

## 「地球温暖化ってなに？」

●講座概要

地球温暖化は、ことばとしては、理解されていますが、なぜそうなるかが理解されていません。

この講座では、地球の手作り模型やすばらしい地球のDVDを使用して、温暖化のなぜを説いていきます。

地球が誕生してからの歴史や、今の姿、そして、宇宙における地球の状態などの理解を通して、温暖化についての理解を深めていきます。

そして、自分たちのできることは何かを考えてもらい、取り組んでいただきます。

また、その後の取組みについても、継続的に注視していきたいと思えます。

●講座内容

1. 地球のなりたち
2. 地球の歴史
3. 地球の現状
4. これからできること

●講師

山口県学校防災アドバイザー、NPO法人日本防災士会 専門員 山口県支部 事務局長  
 防災アドバイザーとして、西日本一帯や県内を講演しています。  
 学校や自主防災組織・各種団体、平日・休日・夜間を問いません。

こう さか よし ひこ  
 幸 坂 美 彦

環境学習講座

8

対 象

小学生～  
(一般可)

対応可能人数

10人～

時 間

30～90分

●講座名

環境問題を学んで起こりうる災害に備えよう!

環境破壊と自然災害の関連は？  
自分の命は自分で守る（自分でできることは自分でしよう）

●講座概要

近年、自然災害が地球規模、特に日本各地で発生しています。地球温暖化の影響で海水温度の上昇など、今までの常識が非常識となり、ニューノーマルの時代になってきました。

そこで、自分の命は自分で守る（自助）、地域は地域で守る（共助）ために、我々が日常生活の中で備えをしておかなければなりません。どう行動する・何を準備するなどの疑問や質問に答えながら、自分で命を守ることや行動の判断について考える講座です。

●講座内容

- ・気象から見る災害の可能性
- ・里山の手入れと防災
- ・みんなで考えよう、環境破壊と災害防止・なぜ環境破壊がおこっているのか？などについて、関連性を含めてお話をしていきます。

●講師

山口県学校防災アドバイザー、NPO法人日本防災士会 専門員 山口県支部 事務局長 防災アドバイザーとして、西日本一帯や県内を講演しています。  
学校や自主防災組織・各種団体、平日・休日・夜間を問いません。

こう さか よし ひこ  
幸 坂 美 彦

●その他

- ・プロジェクター、スクリーンが必要となります。（ない場合、こちらで準備可能）
- ・時間や内容については、ご要望にお応えします。
- ・お気軽にお声をかけていただければと思います。

環境学習講座

9

対 象

小学5年生～  
(一般可)

対応可能人数

50人程度

時 間

60～120分

●講座名

地球温暖化と気象災害のふか～い関係

●講座概要

今、世界の気候がおかしくなっています。

近年、日本各地だけでなく世界中で起こっている大規模な気象災害は地球温暖化とも関係があります。便利で快適な生活を求めるあまり、私達は間接的に自分自身の命を危険にさらしているのです。

大雨、竜巻、台風、大雪・・・近年の極端な気象現象は、天気のみだけではなく私たちの生活スタイルにも原因があるのだということを、できるだけわかりやすい言葉で解説します。

終わった後に、空を見上げたくなるような講座を目指します。

●講師

気象予報士・防災士  
テレビ山口アナウンサーをへて、民間の気象会社から NHK ラジオの気象キャスター出演。現在は山口大学の研究室で気象と防災の研究補佐をしています。  
毎日小学生新聞 天気コラム「お天気宅配便」執筆（2010～2015）  
共著「天気でわかる四季のくらし」

さか もと きょう こ  
坂 本 京 子

環境学習講座

10

対 象

中学生～  
(一般可)

対応可能人数

会場次第です

時 間

30～180分

●講座名

# 地球温暖化(気候変動)を読み解く

●講座概要

近年、異常気象と言われる極端な気象現象が頻発し、甚大な災害が多数発生しています。これらの異常気象は、地球温暖化(気候変動)の進行により、より高い頻度で起こるようになっていわれています。この気候変動について、世界中の気候変動に関連する科学者の集まりである「国連気候変動に関わる政府間パネル(IPCC)」は、2013年末から2014年にかけてIPCC第5次評価報告書を発表しました。この報告書は、最新の気候変動についての科学的な根拠やその影響、対策などについてまとめたものです。本講座は、この報告書の内容を平易に解説し、一般の方にも地球温暖化についての理解を深めていただくための講座です。

地球温暖化の影響をできるだけ小さくし、既に起こりつつある様々な影響に対してどのように行動すれば良いのかについて解説します。中学生から一般の方はもちろん、学校の先生や指導的立場にある方にも受講していただきたい講座です。

●講座内容

- 1 地球温暖化の科学的根拠と影響
  - 2 日本、山口への影響
  - 3 将来の予測
  - 4 地球温暖化対策
- ※時間と要望により内容を調整します。

●講師

山口県立大学 准教授  
温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち 代表  
IPCCレポートコミュニケーター

いま むら ちから  
今 村 主 税

●その他

- ・パソコン、スライドを使用します。  
(要プロジェクター、スクリーン、スピーカー)
- 使用機材はこちらでも準備できます。申込時にご相談下さい。